



# 校長室通信

小国町立小国中学校

令和 4. 3. 11 (金) No34

文責 狹間卓史



## 「希望の明日へ」

4日(金)は、本校の第69回卒業証書授与式でした。昨年度、一昨年度に引き続きコロナ禍での実施となりました。それでも、生徒やそのご家族にとっては一度きりの中学校の卒業式だからこそ、国や県の方針には沿いながらも、本校として精一杯の思いを込めた卒業式を、卒業生はもちろん全校生徒と職員で作りました。そこには九年生保護者の皆様方へのこれまでのご協力とご支援への感謝の思いも込めてのことでした。

今年の卒業生は48人。互いを思いやる優しい心を持った学年でした。「にこにこ」というスローガンを掲げて取り組んだこの一年間の活動は、「誰一人取り残さない学校」を作りたいという思いに溢れたものでした。

この春から進む道は各人それぞれですが、それぞれの道を歩みながらも、きっとこれまで同様に励まし合い喜び合いながら進んでいける48人だと信じています。そういう卒業生の背中を、在校生はずっと追いつけていくはずです。どうか、憧れの先輩として歩み続けてください。

この春からの新しい挑戦が卒業生はもちろんのこと、そのご家族の皆様方にとっても笑顔溢れる素敵な時間でありますことを職員一同、心から願っています。

あらためてご卒業おめでとうございます。



【堂々とした姿でした】



【9年部職員と生徒】



【チーム9年生 全員笑顔で集合】

## 「宝物の経験」

卒業式に先立ち、2日(水)に本校「ほこすぎ寮」の退舎式を行いました。県内公立中学校で生徒寄宿舎を有するのは3校しかありません。(その内の2校が本校と南小国中です。)

中学校入学と同時に入寮しての生活でしたから、自宅との環境の違いに最初は戸惑ったはずですが、それでも寮生活でなければ経験できなかったこと、成長できなかったことが間違いなくあるはずですが。退舎生に今の心境を尋ねたところ、「あまりにも楽しい思い出が多すぎて」、「もっと居たかったです」等の言葉が即座に返ってきました。

ここでの経験はきっとこれからの宝物になるはずですし、活かしてくれることを心から願っています。

【保護者さん方との記念の一枚】→

**※校長室通信は「小国中ホームページ →『校長室から』コーナー」でカラー版をご覧ください。**



【退舎生へ感謝の思いを込めて】

